

八月十六日 聖學者鹿村浩太郎ハ旅行先ヨリ歸院シ翌十七日西
神田警察署ニ出頭シ八月十八日午後一時ヨリ 爭議団代表ト會
見シ夕キ首ヲ申出テタルヲ以テ全署ニ於テ會見方ヲ斡旋セリ
ハ第一回會見状況

八月十八日午後二時ヨリ、レネマハリスニ於テ

聖學者側 鹿村浩太郎 近藤三郎(事務員)

爭議団側 松本政治郎 佐藤 忠 中村 某

組合代表 伊藤 右馬(関映書記長)

會見交渉ニ入り

鹿村 館閉鎖ノ近引シタノハ全ク經濟的行詰リテアリ金策

ノ爲今日迄奔走シテ居ルノテアルカラ諒トセラシタイ

松本 過般斎藤 鹿村西氏宛ノ要求書(既報)ヲ斎藤氏迄

提出シテアルカ今日更テ逐条的ニ交渉ヲ進メタイ

鹿村 第一項ノ館閉鎖カ主要ナ矣テアルカ自介トシテハ到

底閉館不可能テアル

伊藤 無警告ヲ暴圧的手段ニ出タ事ハ非人道テアル

松本 吾々ハ以テスレバ鹿村氏ニ營業ノ継続ヲ強フルモノテ

ハナク後継者ニ引継イテモ結構テアル

鹿村 極力後継者ノ物色シテ居ルカ引渡ケル者カ居ナケレ

ハ止ムヲ得ナイ

松本 今回ノ閉鎖ハ計画的テアリ營業名義ハ鹿村テアルカ

實際ハ斎藤好三氏テアルカラ君カ居ラナケレハ斎藤

氏ニ交渉スル

鹿村 現在安田保全會社ニ地代ノ滞納六千余円アリ 何時

差押處分ヲ受クルモ又知リス、トイキ、ノ器械又月賦

金不拂ノ爲取リ上ケテ受ケルモ又雜計閉館スルニハ

少クモ数千円ノ金カ必要テアル

金策ニハ担保ヲ入レ奔走シテ居ルカ不況ノ爲融買ス